

●所管：会計課、企画総務部、市民部、消防、議事事務局、監査委員事務局、選挙管理委員会事務局、公平委員会事務局、他の常任委員会に属しない事項

**厳しい国民健康保険財政と重い市民負担****総務委員会****国民健康保険事業財政安定化計画**

2月15日の委員会で、国民健康保険事業財政安定化計画について説明を受けました。本市の22年度の国保会計の単年度収支は約7億4千万円の赤字で、厳しい財政運営であることを踏まえ、医療費適正化と保健事業、健康づくりの取り組み（ジェネリック医薬品使用促進、特定健康診査、食育推進等）、及び財源確保（保険税率の段階的な引き上げ、一般会計からの繰り入れ増等）の

視点から、国保収支の安定化を図る計画が示されました。市議会としても、市民負担増への危惧と、国民皆保険



ジェネリック医薬品使用促進通知サービスに平成20年度から取り組んでいる広島県呉市を視察（2月1日）

制度の最後のとりでを堅持するという認識を持ち、「国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書案」を全会一致で可決し、関係省庁に改善を求めました。

●所管：保健福祉部、教育委員会

**読書の楽しさ つながる ひろがる****教育厚生委員会****図書館の相互利用開始について**

3月30日の委員会において、有明圏域定住自立圏共生ビジョンに関する図書館の相互利用開始について報告を受けました。圏域内図書館の図書資料を利用することができるよう読書環境の整備を行うことで、読書意欲の喚起、交流人口の促進、地域振興に役立てることを目的としています。平成24年4月1日から開始され、大牟田市、柳川市、みやま市に住所を有する人は、域内の公

立図書館の図書資料の貸し出しを含む図書サービスを受けられるようになりました。

**インフルエンザの流行状況について**

2月14日の委員会において、インフルエンザの流行状況についての説明を受けました。市内の学級閉鎖等の状況については、平成24年1月13日から2月7日までに、幼稚園4カ所、小学校21校、中学校4校、高等学校2校で、患者総数582人と報告がありました。

●所管：産業経済部、都市整備部、環境部、企業局、農業委員会事務局

**大牟田市産業振興ビジョンに関連して先進地を視察****都市環境経済委員会****環境・リサイクル産業、新エネルギー産業推進プロジェクト**

2月14日の委員会では、上記ビジョンの説明を受けました。この計画の中では、環境・リサイクル産業分野の研究開発等支援事業及びエネルギー関連産業支援事業の推進や事業用太陽光発電設備の設置促進支援措置の拡充を図る内容も盛り込んであり、従来からの事業に加え、新たなエネルギーの活用に向けた具体的な取り組みが必

要になってきます。そこで本委員会では、新エネルギー推進事業などについての先進事例を学ぶために、3月21日から3日間、神奈川県川崎市ほか2都市を訪問し、現地を視察するなどしました。



浮島太陽光発電所（神奈川県川崎市）

●所管：議会改革に関すること

**平成23年度の活動****議会改革特別委員会****議会基本条例の推進**

23年2月に議会基本条例が施行され、同年5月の改選で新しい議会構成となって、本格的に基本条例の推進に取り組んでいます。

基本条例に掲げた項目で、特に力を注いできたのが、議会活動の報告と市民の皆さんからの意見聴取を目的とした議会報告会です。この報告会は議会としても初めての取り組みであったため、議会改革特別委員会において

協議、調整を行ってきました。そして、いただいた意見等を集約・分類するなどの作業を行い、その後の議会としての対処に結びつけました。

これからも基本条例に沿って、時代にあった議会改革に積極的に取り組むことで、議会の活性化に努めたいと思います。

